

《基本方針4》								
みんなで作ろう！～みどりを発信し、育てる～								
key word: 【市民協働】 【情報発信】								
施策番号	施策	施策と概要	担当課	事業内容	完了予定年度	令和6年度実施内容	令和7年3月末時点進捗	
							進捗	進捗の判断材料
①	みどりの情報発信と市民協働による緑化	パンフレットやホームページ、SNSなど様々な情報媒体の活用を通じて、公園情報や本市・奈良県などが主催するイベントを広報することで、市民に対してイベントへの参加を促します。ナラ枯れ防除の支援については、森林環境譲与税を活用し、毎年継続的な予算化を行うとともに、広報活動を推進するなど、みどりのまちづくりの基礎となる様々な情報を市民に提供します。	農林課	ナラ枯れ防除については、森林環境譲与税を活用し、毎年継続的な予算化を行い、定期的な広報（ホームページ）の掲載で周知に努める。	継続実施	ナラ枯れ被害防除事業補助金を交付した。 申請数：1件	A	実施状況
			都市計画課	奈良県等が実施する公園やみどりに関するイベントについて市ホームページ等で広報することで、市民のみどりのイベントへの参加を促す。	継続実施	奈良県より案内のあったみどりのイベントについて、市ホームページやFacebookにて周知を行った。また、市内のみどりを増やすため、寄贈いただいた花苗の配布を行った。	A	実施状況
			公園道路管理課	必要に応じて公園情報を市民に広く提供する。	継続実施	ホームページを活用し、都市公園維持管理補修事業などの事業実施を掲載した。	B	実施状況
		市民協働課	市民、事業者等が緑化活動等へ積極的に参加できるよう、「香芝市まちづくり提案活動支援事業」として補助金交付などを行い、市民協働による緑化を推進します。	継続実施	まちづくり提案活動支援事業補助金に応募した市民団体に対し、審査会での審査を経て補助金を交付した。	A	交付件数	
		商工観光課	事業者に対する緑化活動等への参加、協議、活動の場の創出を検討する。	継続実施	実施事項なし。	C	検討頻度	
②	森林環境教育等の推進	幼児に対する環境教育の実施等、幼児が豊かな感性を育むための取組を行います。	保育幼稚園課	各園などから朝顔の種を家庭に持ち帰り、保護者とともに観察し自ら育て成長等自然の力また、地域での緑化にもつなげる。	継続実施	園内のプランターや地域の畑、農園にて季節ごとの菜園活動を実施するよう、指導した。幼稚園・保育所・認定こども園計13園に訪問し、確認した。	A	実施状況
			生涯学習課	地域学校協働活動において、地域と協働しながら、幼稚園児を含めた子どもに対する環境教育を行う。	継続実施	各学校の地域学校協働活動において、園芸活動や美化活動などを、引き続き計画どおりに実施した。	A	実施状況
		農林課	市内公立小学校において森林環境教育に関する体験学習プログラムを実施する際は、森林環境譲与税を活用した支援を行うなど、森林に対する理解や保全、担い手育成のための森林環境教育を推進します。	継続実施	材料費等に森林環境譲与税を使用し、ふれあいフェスタで木工体験を実施し、みどりと触れ合う機会を提供した。	A	実施状況	
		学校支援室	青少年や市民に対して、自然体験学習や講座を通し、自然や環境に対する意識の醸成を行います。	継続実施	市内各小学校が森林環境教育体験学習プログラムを設定している施設等において、当プログラムを活用した学習を行うにあたり、使用料及び賃借料（バス代に限る）に対して補助を行う。野外活動等の校外学習と重ねて本事業を実施する。体験活動としては、「焼き板づくり」や「丸太切り」、「ネイチャークラフト」など行う。	継続実施	市内各小学校が森林環境教育体験学習プログラムを設定している施設等において、当プログラムを活用した学習を行うにあたり、バス代を補助した。	A
③	みどりの担い手づくり	学校教育の場では、市の出前講座を活用して地球温暖化やゴミ問題について学習することで小学生が自分の生活の在り方について考える機会とします。市民活動全般の活性化に向けては、団体運営のスキルアップに向けたセミナーや各団体の活動内容を相互に発表する場を設けるなど、団体相互の交流を図ります。	市民協働課	市民活動全般の活性化に向けて、セミナーを実施することで団体運営のスキルアップを図るとともに、活動報告会を実施することで団体相互の交流を図る。	継続実施	市民団体の運営に資するセミナーを2回開催した。また、活動報告会により団体相互の交流を設け、団体活動の活性化に努めた。	A	セミナー及び報告会開催件数
			学校教育課	環境対策課主催の環境学習（出前講座）を通して地球温暖化やゴミ問題について学習し、小学生が自分の生活の在り方について考える機会を設ける。	継続実施	総合的な学習の時間や社会科等の学習の中で、地球温暖化やゴミ問題等について小学生が考える機会を設けた。	A	実施状況
			学校支援室	小学校での委員会活動や中学校の生徒会活動において、プランターに花を植える活動を行い、校内のみどりの環境整備に努める。	継続実施	小学校での委員会活動や中学校の生徒会活動において、プランターに花を植える活動を行い、校内のみどりの環境整備に努めた。	A	実施状況
			生涯学習課	生涯学習講座において、自然・環境・緑に関する講座を実施し、意識の醸成を行う。	継続実施	夏のかしばアカデミーにおいて、屯鶴峯をテーマとする講座の実施があった。この講座には5名の参加者があり、アンケートの結果は非常に好評であった。	A	実施状況
		農林課	本市においては、施業林となる森林が少ないことから、放置林等について一定の整備を行った後は、地域における緑地の整備や維持管理等を行うとともに、ボランティア等の育成につながる取組の検討を行います。	継続実施	整備する森林の選定準備を行った。	B	実施状況	
		学校支援室	学校教育としては、奈良県の副読本を使用して、奈良県の森林・林業の現状を知り、環境保全の取組への理解を深める学習を行います。	継続実施	奈良県の社会科副読本を配布し、「林業がさかんな地域とくらし」の学習に取り組んだ。奈良県の森林・林業の現状知り、環境保全の取組みへの理解を深める学習に活用した。	A	実施状況	
		公園道路管理課	【基本方針1-②共通】自治会が管理・運営する「ふれあい広場」に対して支援を行う。	継続実施	補助金を活用し支援を実施した。	A	実施状況	
④	市民と連携した広場等の維持・活用	自治会が管理・運営するふれあい広場については、身近なみどりとしての活用が可能であることから、ふれあい広場の維持管理に対して支援を行います。	公園道路管理課	【基本方針1-②共通】自治会が管理・運営する「ふれあい広場」に対して支援を行う。	継続実施	補助金を活用し支援を実施した。	A	実施状況

⑤	民間空地や遊休農地の有効活用	平成 29 (2017) 年の都市緑地法の改正により、民間が主体となって市民緑地の設置や管理を行うことが可能となったことから、所有者に制度の活用意向がある場合は、公園の不足域や、現在、策定中の立地適正化計画における都市機能誘導区域・居住誘導区域を考慮して制度活用を検討します。遊休農地においては、農地法や農業経営基盤強化促進法などの法規制を踏まえ、景観の確保や特産品の創造など地域の状況に応じて活用を図ります。	農林課・農業委員会	遊休農地においては、農地法や基盤強化法に反しないルールのもと、地域の状況に応じた活用となるよう精査する。水田景観の確保と特産品創造の観点より市内の遊休農地を地域の担い手や蔵元が酒米づくりをし、市内生産の米にこだわった「特産地酒」を醸造することで、継続して遊休農地を解消する。	継続実施	酒用米作付けによって、遊休農地120aを解消した。	A	実施状況
			都市計画課	【基本方針1-②共通】民有地の空地について、所有者に市民緑地認定制度の活用意向がある場合は、公園の不足域や、現在、策定中の立地適正化計画における都市機能誘導区域・居住誘導区域を考慮して制度活用を検討する。	継続実施	実施事項なし。	C	実施状況
⑥	協議会の活用など民間アイデアを生かした公園整備	平成 29 (2017) 年の都市公園法の改正により、公園利用者の利便性向上を図るため、公園管理者以外にも有識者や公園で活動を行う団体等が参加する協議会制度が創設されました。幅広いアイデアを生かした公園活性化の取組が特に重要と考えられる香芝総合公園等については、新たな協議会等を立ち上げ、ワークショップを開催するなど、公園整備に市民や民間のアイデアを取り入れるよう、制度の活用を検討します。また、大規模な公園の整備や維持管理にあたっては、本市の健康レクリエーションや観光振興等につながるよう、民間活力を活用するなど手法の検討を行います。 <u>重点1</u> <u>重点2</u>	商工観光課	「公募設置管理制度 (Park-PFI)」制度活用の検討について、関係部署と連携し、民間事業者に対する情報提供を行う。	継続実施	民間事業者に対する情報提供を行う段階に至っていないため、未実施であった。	C	情報提供の頻度
			都市計画課	香芝総合公園の整備手法において、公募設置管理制度 (Park-PFI) も視野に入れて検討する。	継続実施	整備基本構想を策定する中で、民間事業者に対して、参入の可能性を探った。奈良県や国が開催する説明会等には、積極的に参加し、知識を深めた。	A	実施状況
				【基本方針1-①共通】総合公園整備において、みどりの基本計画策定委員会を基礎とした協議会等を立ち上げ、ワークショップを開催するなど、広くアイデアを募り、公園整備に生かしていくことを検討する。	令和10年度	基本構想や基本計画策定に際して、どのような形で市民の意見を取り入れるか検討した。令和6年度には、総合公園周辺で活動されている市民団体に対して、ヒアリングを行った。	B	検討状況
			公園道路管理課	公募設置管理制度 (Park-PFI) について、研究に努める。	継続実施	公募設置管理制度 (Park-PFI) の研究を継続して実施した。	C	実施頻度
				公園協議会の設置について、研究に努める。	継続実施	公園協議会設置に関する研究を継続的に実施した。	C	実施頻度
⑦	民有地の緑化意識の向上	既存のイベントである香芝ウォークや岳のぼりなどへの参加を促進するため、効果的な情報発信や参加者のニーズに応じたルート設定を検討します。イベントの実施にあたっては、ボランティアガイドと連携するなど内容の充実を図ります。	商工観光課	香芝ウォークの効果的な情報発信、及び参加者のニーズに合ったルートを検討する。香芝ウォーク事業により、市民がみどりと触れ合う機会を増やす。	継続実施	9月29日に香芝ウォークを開催した。今池親水公園を起点終点とし、大坂山口神社 (穴虫)、真善寺、大の松為次郎の墓碑、春日神社、竹田川沿いを巡るコースにより、約670名が文化財や自然に触れ合った。	A	イベントの開催
			文化財課	香芝ウォークには、香芝市二上山博物館ボランティアガイドの会と協力し、市内の歴史的資源の周知を図っている。また、定期的に歴史ウォークを実施し、市内の歴史的資源の認知度向上に努める。	継続実施	文化財課主催「二上山博物館 市民の歴史講座」において、市内の歴史資源を巡る現地学習 (歴史ウォークイベント) を実施した。	C	実施内容
			市民図書館	市民がみどりと触れ合う機会を増やす。	継続実施	みどりに関する情報を提供することで、市民がみどりに接する機会を増やせるよう、植物や園芸、森林等の分野の本の更新を行い、7月の「森と湖を楽しむ旬間」以外の機会にも関連図書の実施を行った。	A	実施状況
			管財課			本庁舎及び市営住宅敷地内の緑化維持管理事業を予算化した。	A	予算事業の完全実施
			文化財課			市内史跡公園内における、定期的な除草作業を実施したことにより、公園内の自然及び緑化の保全に努めた。	B	実施状況